

化学工学会第 53 回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム
結晶化・晶析技術最前線 ～基礎研究から工業化まで～ 報告書

オーガナイザー
土岐 規仁 (岩手大学)
日野 智道 (三菱ケミカル)
船越 邦夫 (鈴鹿高専) (文責)

2022 年 9 月 14～16 日に信州大学長野(工学)キャンパスとオンラインにて開催された化学工学会第 53 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 27 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 14 日 9:00～18:00 19 件 (展望講演 1 件、依頼講演 1 件を含む) 9 月 15 日 9:00～12:00 8 件
会場	信州大学長野(工学)キャンパス／オンライン
聴講者数	60 名
展望講演 依頼講演	『工業晶析における不純物の分配について』前田光治氏 (兵庫県立大学) 『酵素ラセマーゼによるラセミ化反応と優先晶析法を組み合わせた DL-アミノ酸の高効率・高収率な光学分割』五十嵐幸一氏 (大阪公立大学)

以上